

第14回高知市総合教育会議

配付資料

- 次 第
- 名 簿
- 高知市総合教育会議運営要綱
- 資料等

議題1：G I G Aスクールの進捗状況

- G I G Aスクールの進捗状況
- 資料1 デジタルドリル
- 資料2 タブレットドリル説明資料
- 資料3 ローカルブレイクアウト説明資料
- 資料4 コールセンターチラシ
- 資料5 I C T活用推進協議会
- 資料6 I C T活用推進協議会研修一覧
- 資料7 I C T活用推進協議会-takeoff フロー

議題2：高知市の不登校対策

- 「教育支援センターみらい」の取組の強化と「校内型適応指導教室」の研究実践の推進

議題3：高知市における学力向上の取組

- 高知市における学力向上の取組

第14回高知市総合教育会議 次 第

令和3年7月27日(火) 14:30~16:00

オーテピア4階 集会室

1 開 会

2 市長挨拶

3 議 題

議題1 : G I G Aスクールの進捗状況

議題2 : 高知市の不登校対策

議題3 : 高知市における学力向上の取組

4 その他

5 閉 会

第14回 高知市総合教育会議名簿

令和3年7月27日

職名等		氏名
	市長	岡崎 誠也
教育委員会	教育長	山本 正篤
	教育委員	谷 智子
	教育委員	西森 やよい
	教育委員	野並 誠二
	教育委員	森田 美佐

高知市総合教育会議運営要綱

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第1条の4第9項の規定により、高知市総合教育会議運営要綱を次のように定める。

（総則）

第1条 高知市総合教育会議（以下「会議」という。）の運営は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）に規定するもののほか、この要綱の定めるところによる。

（招集）

第2条 市長は、法第1条の4第3項の規定により会議を招集しようとするときは、あらかじめ会議の場所及び日時並びに会議において協議又は調整すべき事項を教育委員会へ通知するものとする。

2 市長は、前項の通知を行ったときは、遅滞なく、当該通知に係る事項を、高知市ホームページに掲載して公表するものとする。

3 前項の規定は、第1項の通知に係る事項を変更した場合（会議を中止した場合を含む。）について準用する。

（会議の非公開）

第3条 市長は、法第1条の4第6項ただし書の規定により会議を公開しないこととした場合は、あらかじめ、その旨を公表することとする。この場合においては、第2条第2項の規定を準用する。

2 前項の規定は、会議の中途において生じた事態により、緊急に会議を公開しないこととする場合は、適用しない。

（議事録）

第4条 市長は、法第1条の4第7項の議事録には、次に掲げる事項を記載するものとする。

- (1) 開会及び閉会に関する事項
- (2) 出席者（傍聴人除く。）の氏名
- (3) 協議又は調整に係る事項及びこれに関する出席者の発言
- (4) その他市長が必要と認めた事項

2 市長は、議事録を作成したときは、遅滞なくこれを公表するものとする。この場合においては第2条第2項の規定を準用する。ただし、前条の規定の場合にあっては、公表しないことができる。

（議事進行及び庶務）

第5条 会議の議事進行及び庶務は、総務部が行う。

（補足）

第6条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に際し必要な事項は、市長が会議に諮って定める。

附則

この要綱は、平成27年4月27日から施行する。

附則

この要綱は、平成29年10月24日から施行し、この要綱による改正後の高知市総合教育会議運営要綱の規定は、平成29年4月1日から適用する。

--- G I G Aスクールの進捗状況 ---

学校環境整備課

◆ ICT機器等の準備

整備内容	国の整備目標	令和2年度までの整備数等	令和3年度整備数等	R2年度	R3年度												R4年度	R5年度	
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
① ネットワーク整備 <small>(10Gbps) 【小・中・義・特・高】</small>	無線LAN100%	10Gbps 60校 無線LAN100% <small>国補助</small>	—	整備工事	運用														
		小学4年～中学3年 14,271台 <small>国補助</small>	—	端末配置	運用														
② タブレット端末 <small>【小・中・義・特(小・中)】</small>	学習者用：1人1台 指導者用：授業を担当する 教師1人1台	—	小学1年～小学3年, 教員, 市教委指導主事 8,195台 <small>追加交付金</small>			端末配置		運用											
		—	高知特支(高等部) 66台 <small>追加交付金</small>				端末配置		運用										
③ タブレット収納庫 <small>【小・中・義・特(小・中)】</small>		59校 770台 <small>国補助</small>	11校 14台 <small>追加交付金</small>	設置	運用														
④ 電子黒板 <small>【小・中・義・特(小・中)】</small>	各普通教室1台 特別教室用6台	59校 862台 <small>市単</small>	10校 11台 <small>追加交付金</small>	設置	運用														
⑤ ローカルブレイクアウト <small>学習系ネットワークを学校から直接インターネットへ</small>		1校 <small>市単</small>	56校 <small>国補助</small>			現地調査													
						モデル校整備工事			整備工事	運用									
⑥ デジタルドリル <small>【小・中・義・特(小・中)】</small>		経済産業省の事業を 活用し無償でデジタル ドリルを利用	デジタルドリルライセンス購入 小39校, 中17校, 義2校, 教育委 員会1の計59ライセンス <small>追加交付金</small>	経産省の事業を活用し無償で利用															
						入札・契約・ライセンス証納品	運用												
⑦ 指導者用デジタル教科書 <small>【小・中・義】</small>		58校 総ライセンス数980	58校 総ライセンス数980	整備済	国・算・数・社・理・英・書														
⑧ コールセンター <small>平日8:30～19:00 高知市立学校のGIGAスクール構想推進をサポート</small>		—	全60校 <small>国補助</small>																
						運用準備	運用												

◆ ICTの活用推進

⑨ 高知市立学校ICT活用推進協議会	資料5																		
	資料6	協議会①																	
	資料7																		
産学官連携でICT機器等の活用による、家庭学習も含めた新たな学びのスタイルを推進																			

◆ 関連事業

鏡・土佐山地域ブロードバンド整備	高度情報通信環境整備促進事業	民間事業者による整備事業	サービス提供開始 (予定)
------------------	----------------	--------------	------------------

「1人1台端末・高速通信環境」×「デジタルドリル」がもたらす学びの変容イメージ

GIGAスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、**多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する**
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、**教師・児童生徒の力を最大限に引き出す**

これまでの教育実践の蓄積

ICT

学習活動の一層充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

「1人1台端末」ではない環境

- 全員が同時に同じ内容を学習する
(一人一人の理解度等に応じた学びは困難)



従来のドリル教材

- 一斉に同時箇所の反復練習をする
(理解度に応じた練習や進度調整ができない)
- 教師が採点をする
(待ち時間が生じ、児童生徒自身がつまづきに気付けない)
- 書き込みをせず、別途ノート用意 (書き込むと再利用難)

個別学習

休校

コスト

【例】漢字ドリル 320円 × 3学期分 = 960円
計算ドリル 320円 × 3学期分 = 960円
小学生一人あたり 漢字と計算だけで 年間 1,920円
学校ごとにバラバラの採用 使用頻度もまちまち

「1人1台端末」の環境

- 各人が同時に別々の内容を学習できる
- 各人の学習履歴が自動的に記録される
→ 一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能に



デジタルドリル教材

- 個の理解度に応じたスモールステップでの反復練習ができる
- 自動採点により待ち時間なしで児童生徒自身がつまづきに気付くことができる
(個に応じた習熟が可能となり学習意欲が向上する)
- 何度でも書き込み可 (手書きにも対応)

- 理解度や習熟度に応じた課題提示が自動的に行われ、自動採点される
- 教師による個別の課題把握や進捗把握が可能となる (オンライン前提)

【試算】小学生14,947人 中学生 5,763人 合計 20,710人
事業費 14,278,000円 (20か月)
小中学生一人あたり (国・算数・英・理・社) 689円 (20か月)
高知市統一した取組が可能 408円 (1年)

誰一人取り残さない
Leave no one behind

×

高知市の教育

=

デジタルドリル

全ての学校で学力向上
ボトムアップのスタンダード

“すぐにでも”
“どの教科でも”
“誰でも”
活かせる

デジタルドリル教材について

資料 2

デジタルドリル教材の特色

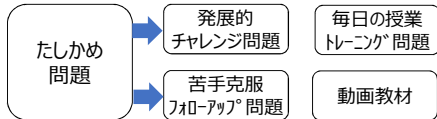
※ この資料は東京書籍「タブレットドリル」を例に作成しています

1 児童生徒一人一人に応じた学びを実現

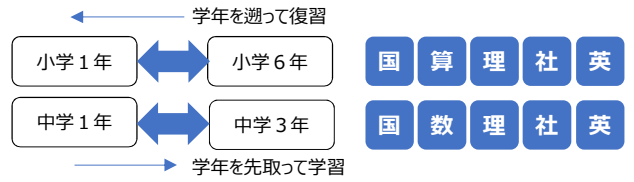
1人1台タブレット端末で一人一人がデジタルドリルを使用
すぐに自動採点、結果確認が可能

2 一人一人のレベルに合った問題で学力定着

難易度別の問題
小1～中3 合計約70,000問



3 すべての学年の問題が利用可能



教員 学習履歴管理が可能

クラスの結果確認
個人の学習状況確認
問題プリントごとに学習状況確認



学習の主な流れ

【例】小学5年生 国語「漢字の成り立ち」たしかめプリントより



【教員】学習状況の把握

・様々な切り口から学習履歴を確認 ・成績変化を確認 ・解答結果を確認 等 → 一人一人に合わせたきめ細かな指導へ

教科書設定

お使いの教科書に合わせて出版社を設定します。
出版社を設定することで、学習者用アプリの目次・プリントが最適な状態にセットされます。

小学校出版社設定

	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年
国語	東京書籍	東京書籍	東京書籍	東京書籍	東京書籍	東京書籍
算数	東京書籍	東京書籍	東京書籍	東京書籍	東京書籍	東京書籍
理科	-	-	大日本図書	大日本図書		大日本図書
社会	-	-	教育出版	教育出版		教育出版
英語	-	-	東京書籍	東京書籍	東京書籍	東京書籍

中学校出版社設定

※採択されている教科書出版社を選択することが可能

個人の成績を把握

学習者一覧 集計グラフ

並び替え 成績変化の設定 (比較時点と比較対象を設定してください。成績変化のアイコンが変化します。)

学習者名の検索 2021/05/18 5点以上 10点以上 15点以上

50件 表示切り替え CSVダウンロード

ヘルス	学習者名	最終学習日	集計 学習回数	平均 学習時間	平均点	成績変化	配布プリント 学習状況
😊	16001	2021/06/18	7	00:01:20	43点	→	未配布
😐	16002	2021/06/18	4	00:04:24	77点	→	未配布
😐	16003	2021/06/18	5	00:06:10	68点	→	未配布
😐	16004	2021/06/18	6	00:04:00	80点	→	未配布
😐	16005	2021/06/18	5	00:04:58	78点	→	未配布
😊	16006	2021/06/18	4	00:02:24	37点	→	未配布

得意・不得意の把握

学習者プリント一覧を見る 学習者学習状況を見る

小学1年 小学2年 小学3年 小学4年 小学5年 小学6年

国語 算数 理科 社会 英語

得点の高い低いプリントTOP5 CSVダウンロード

順位	得点	問題
1位	100点	【国語】数直線
2位	100点	【国語】漢字の成り立ち・三字の熟語
3位	95点	【国語】数直線 形の似ている漢字・似た意味の漢字
4位	93点	【国語】反対の意味の言葉・熟語・同じで形の似ている漢字
5位	90点	【国語】数直線 形の似ている漢字・似た意味の漢字

全体の傾向を把握



学習時間の把握



GIGAスクール構想推進事業(ローカルブレイクアウト)

資料3

ローカルブレイクアウト

- 従来の県教育ネットデータセンター集約型ネットワークでは、激増した端末数に相当する膨大な通信データが上位回線に一極集中し、安定的で高速なインターネットに同時接続ができなくなることが想定される。
- 学習系ネットワークを学校から直接インターネットへ接続する方式に改める。
- データセンターで集約する方式と同様のセキュリティを確保する仕組みを構築する。

センター集約型

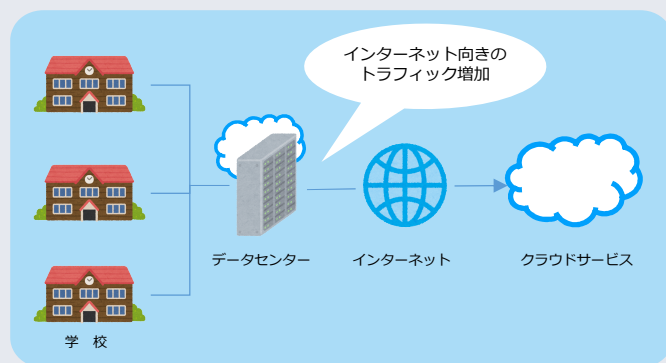
- データが上位回線に集中し、インターネットに接続できなくなる
高知県内の児童生徒約60,000人が1Gbpsの回線を利用
- データセンターのサーバによるセキュリティの集中管理
- 県教委整備のi-フィルターによる通信制御

ローカルブレイクアウト型

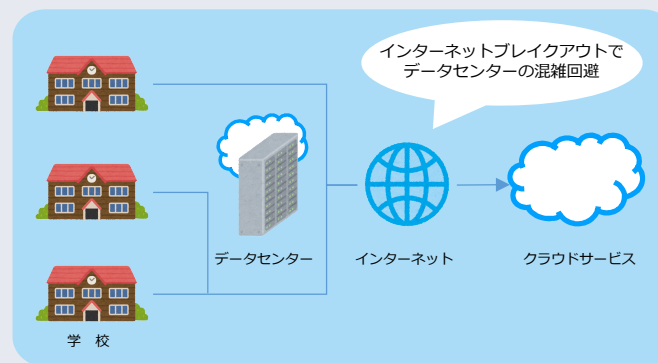
- 学校から直接インターネットへ接続できるため、スムーズにインターネットへ接続できる。
高知市立学校1校当たり最大800人が1Gbpsの回線を利用
- UTM装置による通信制御を行う(ファイアウォール)
- i-フィルター(クラウド版)による授業に関係ない通信の制限を行う



ローカルブレイクアウト導入前



ローカルブレイクアウト導入後



サービス提供期間 2021年7月1日～2022年3月31日

7月1日より新規開設

高知市 GIGAスクール コールセンター

学校のタブレット(Chromebook/iPad)
アプリや無線ネットワーク等に関する
ご質問に対応します



高知市立学校のGIGAスクール構想推進をサポート

TEL 0120-135-410

受付時間 平日 8:30～19:00 ※土日祝日及び年末年始休業期間中は除く

E-mail gigakochi@mcscloud.jp

学校のタブレットが故障した

ログインアカウントについて
教えてほしい

Google/iPad アプリについて
教えてほしい

学校の無線ネットワークに
つながらない

学校のタブレットの操作方法が
分からない

質問をしたいが
どこに連絡したらよいか分からない

電話での
お問い合わせ

お電話でのご相談には次のことを
オペレーターにお伝えください

- 1 ご所属とお名前
- 2 ご相談対象の機器又はアプリ名
- 3 対象のアカウント ID/端末管理番号
- 4 不具合・故障内容/ご相談内容

メールでの
お問い合わせ

メールでのご相談には次のこと
をご記載ください

- 1 件名 「【高知市】学校名・発信者名」
- 2 ご相談対象の機器又はアプリ名
- 3 対象のアカウント ID/端末管理番号
- 4 不具合・故障内容/ご相談内容
- 5 返信先アドレス・ご所属とお名前

目的

高知市立学校の教育活動において、I C T 機器等の活用による、家庭学習も含めた新たな学びのスタイルを推進する



産学官連携 高知市立学校 I C T 活用推進協議会

民間企業

学識経験者

教育委員会

- 情報化による授業改善の事例提供
 - ・デジタル教科書活用事例
 - ・プログラミング教育事例
 - ・特別支援教育における活用事例
 - ・一人1台のGIGAタブレット活用事例
- 学校の I C T 環境整備に関する協議
 - ・授業改善を効果的に支援する I C T 環境について
- I C T 活用指導力の育成に関する協議
 - ・指導力向上のための研修



電子黒板

デジタル教科書

児童生徒用端末

I C T 機器

G I G A スクール構想の実現



➤ 学習指導要領に沿った教育活動の推進

- ・ 情報活用能力の「学習の基盤となる資質・能力」に位置付け
- ・ 小・中・高等学校を通じてプログラミング教育

➤ ICTを活用した効果的な教育活動の実践

- ・ 児童生徒の興味・関心を高めるためのICT活用
- ・ 児童生徒一人一人に課題を明確につかませるためのICT活用
- ・ わかりやすく説明したり、児童生徒の思考や理解を深めたりするためのICT活用
- ・ 学習内容をまとめる際に児童生徒の知識の定着を図るためのICT活用

➤ ICTの活用による特別なニーズに応じた教育活動や支援の実践

- ・ 特別支援教育における効果的な I C T 活用
- ・ 不登校及び特別に支援を必要とする児童生徒への効果的な I C T 活用



高知市立学校ICT活用推進協議会 令和2年度の動き

会議の開催

- 第1回 令和2年7月30日 (木)
- 第2回 令和2年9月30日 (水)
- 第3回 令和2年10月2日 (金)
- 第4回 令和2年12月4日 (金)
- 第5回 令和3年3月4日 (木)



模擬授業の実施

令和2年12月4日 (金) (於：第六小学校)

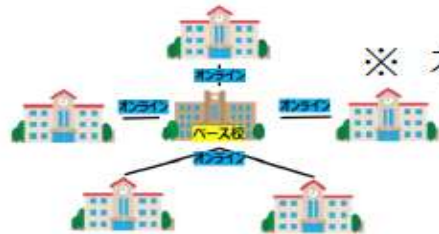


研修の実施

- 管理職対象 令和3年2月3日 (水) 放送大学 佐藤幸江先生
2月9日 (火) 放送大学 中川一史先生
※ 両名とも、高知市立学校ICT活用推進協議会委員

講演：演題「なぜGIGAスクール構想」なのか

- 教員対象 令和3年1月29日 (金)～3月12日 (金) の期間で11回実施
タブレット端末の基本操作、学習ドリルソフト及び協同学習ができるソフトを利用した研修



※ 本研修は「オンラインハイブリッド型」での実施

対面研修を行う学校をベース校とし、
他校はベース校での研修をオンライン参加で受講

ICT活用に関する事例等の提供

整備したICT機器の操作や利活用に関する情報提供の場としてのサイトを設置 (右図)



高知市立学校ICT活用ガイド

■ 令和3年度 教育研究所主催の研修

令和3年度 情報教育研修会（全10講座）

研修番号	開催日時	申込締切日	研修名	使用ソフト及び機器等	講座内容について
①	6/4(金) 15:45~16:45	5/28(金)	GIGAタブレットを活用しよう①〔基礎編〕	Chromebook, 電子黒板	GIGAタブレット(Chromebook)で利用できるソフトウェアの紹介等, 基礎的な内容について, 演習を通して学びます。
②	6/15(火) 16:30~	6/8(火)	もっとみんなでICT&プログラミング!		授業におけるICTの活用や, プログラミング教育に係るカリキュラム・マネジメントや単元構成, 授業づくりなどについて, 参加者が悩みなどをもち寄ってお互いに意見・情報交換する中で解決を目指します。 アドバイザー: 高知大学 川村 晶子 客員准教授
③	6/29(火) 15:45~16:45	6/22(火)	GIGAタブレットを活用しよう②〔実践編〕	Chromebook, 電子黒板	GIGAタブレットの授業等における活用等, 実践的な内容について, 演習を通して学びます。
④	7/26(月) 9:00~12:00	7/12(月)	使ってみよう! タブレットPC①	知恵たま, 電子黒板, Windowsタブレット	小・中・義務教育・特別支援学校に導入しているタブレットPC(Windows)と, インストールされている知恵たまを活用して, 協働的な学習を進める方法を学びます。
⑤	7/26(月) 13:30~16:45		問題解決能力を培うための授業デザイン ~ プログラミング教育とPBL~	知恵たま, 電子黒板, Windowsタブレット	プログラミング的思考の本質や, 未知の課題に対する問題解決能力を培うためのカリキュラム・マネジメントを通じた単元づくり・授業づくりについて, PBL(Project Based Learning, 問題解決型学習)の手法を用いて, 総合的な学習の時間で取り組むことを想定した講義・演習を行います(全校種対応)。 講師: 高知大学 川村 晶子 客員准教授
⑥	9/14(火) 15:15~16:45	9/7(火)	使ってみよう! タブレットPC②	SKYMENU Class, 電子黒板, Windowsタブレット	小・中・義務教育・特別支援学校に導入しているタブレットPC(Windows)と, インストールされているSKYMENU Classを活用した授業を行う方法を学びます。
⑦	10/12(火) 15:45~16:45	10/5(火)	ICTでつながろう!①〔基礎編〕	Chromebook, 電子黒板	ビデオ会議ツール「Google Meet」を活用した, 他の学校とつないで授業をする方法等, 基礎的な内容について学びます。
⑧	10/25(月) 15:45~16:45	10/18(月)	GIGAタブレットを活用しよう③〔発展編〕	Chromebook, 電子黒板	授業において, 主体的・対話的で深い学びを実現するためのGIGAタブレットの活用等, 発展的な内容について, 演習を通して学びます。
⑨	11/9(火) 15:45~16:45	11/2(火)	ICTでつながろう!②〔発展編〕	Chromebook, 電子黒板	ビデオ会議ツール「Google Meet」を活用した, オンライン授業を進める方法等, 発展的な内容について学びます。
⑩	1/5(水) 14:30~16:45	12/22(水)	カリキュラム・マネジメントからプログラミング教育を考えよう	電子黒板, Windowsタブレット	「小学校プログラミング教育の手引(第三版)」を使い, プログラミング教育のねらいや学習内容等を踏まえながら, カリキュラム・マネジメントの考え方を通して, 小学校6年間でのプログラミング教育の位置付けや単元構成, 授業のアイデアについて考えます。

◆ 研修内容について

- 本研修は, 希望参加の研修会です。なお, ①~⑨は全校種対応, ⑩は小学校対応です。
- 研修番号①, ③, ⑦, ⑧, ⑨は, 「GIGA スクール構想」に対応した講座です。
- 研修番号④, ⑤, ⑩は, 「小学校のプログラミング教育」に対応した講座です。

■ 学校環境整備課が行う研修

①	GIGAタブレットや各種のアプリの利活用研修	5講座開催 (教育研究所が実施する情報教育研修会の全10講座の内, 「GIGAスクール構想」に関連した研修として5講座開催)
②	プログラミング教育研修	3講座開催 (教育研究所が実施する情報教育研修会で開催)
③	希望者対象のオンライン研修等	随時開催 第1回 4月下旬

令和3年度 情報教育担当者会

開催日時	研修名	使用ソフト及び機器等	内容について
6/22(火)14:00~16:45	情報教育担当者研修会	Chromebook	授業で電子黒板とGIGAタブレット等を利用した新たな学習スタイルが展開できるよう, 情報教育担当者として必要な基礎的・具体的な内容について学ぶ。

その他

開催日時	研修名	内容について
随時	ICT オンラインミーティング(研修)	各学校の状態やアドバイス, アイディア, 事例紹介等を任意参加で行う。固定テーマ無しでの開催も可能。
学期複数回	授業研	授業研究や出前授業は, 学年, 学級単位での実施可能。事前・事後研は対面又はMeet等で実施・共有。

TakeOffフロー



機体準備
2021年
1 助走

課題

- 初めてのタイプ (ChromeBook)
- 初めての完全個人ID (子どもも教職員も)
- クラスでの無線WiFiでの利用

TakeOffするためには
基礎の基礎のハード・ソフトの操作に慣れる時間が必要

↓
教員研修と子ども達の日常使い

2021年4月
2 TakeOff離陸

TakeOff離陸

- 1 取扱いにもたつかない
- 2 子どもが自分で学習できる
- 3 教員が既存授業の延長上で使えるから始める

助走

- 電子黒板との連携ドリル教材ソフト
- Google標準機能 (協働学習機能)
- タブレットの基本操作
- GoogleIDとログイン
- 基本ソフトの操作

その他の課題
電子黒板用PCの不足 → CP室のPCを電子黒板用PCに転用 → 不足分をGIGAタブレットでカバー

3 水平

4 上昇

- 各教科での利活用
- 協働的な学びでの利活用のウェイトUP (教員主導から子ども主導へ)
- デジタル教科書や他のデジタル教材・機器との組み合わせ
- 個の利用から
- 授業や授業以外での利用

新しい学びのスタイルへ
資質・能力育成

学習履歴
デジタル教材・AI
Google拡張機能

2026年?

課題
自宅学習

学習履歴
デジタル教材
デジタル教科書
Google拡張機能 (協働学習機能)

ネットワーク課題
通信速度の遅さ
↓
民間プロバイダーからインターネットへ出る(local breakout)
→ 利用度との調整

令和3年度第14回高知市総合教育会議



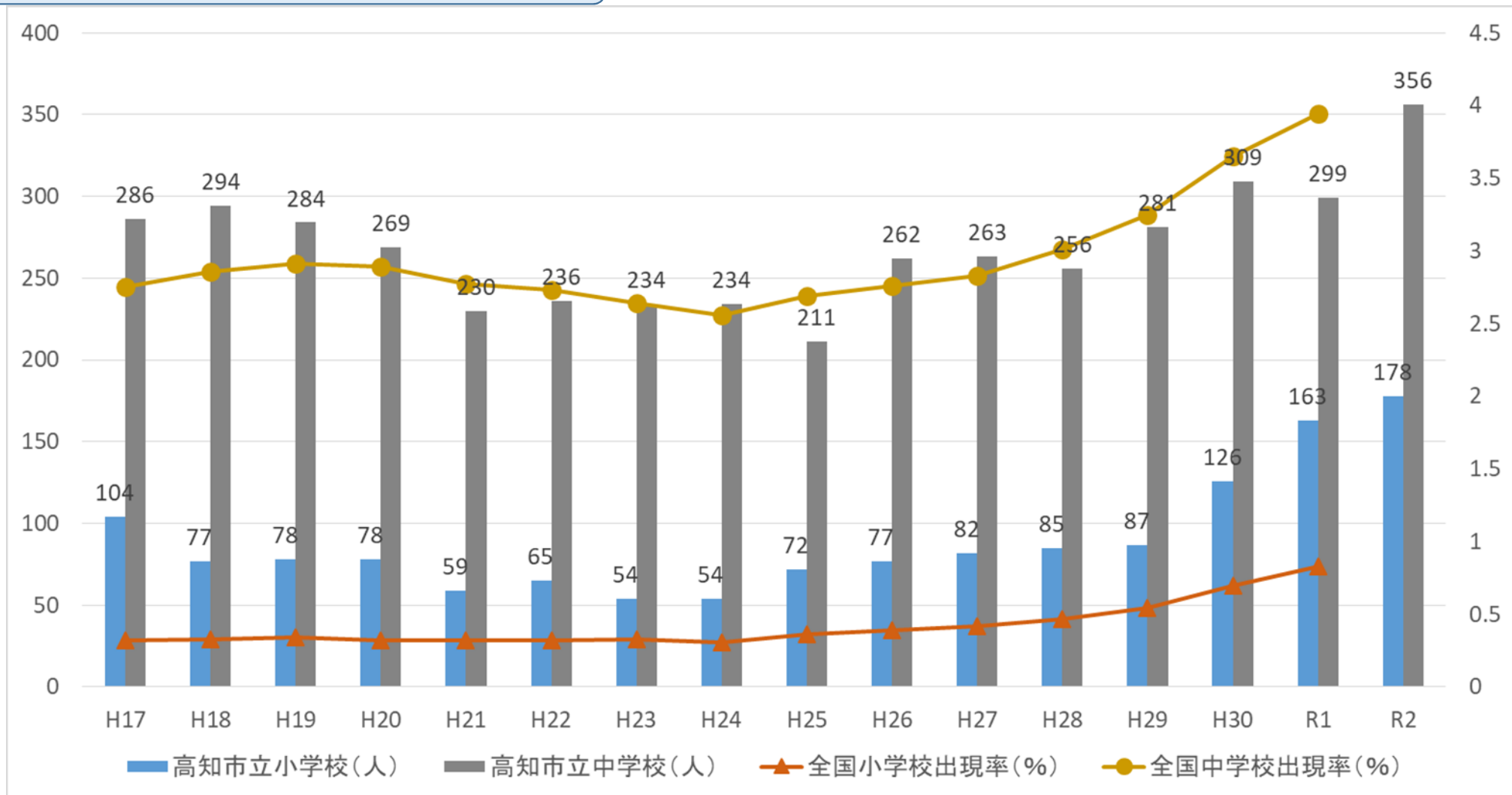
みらいエ石山登山より

高知市の不登校対策

不登校児童生徒の自立に向けた支援の充実

高知市教育研究所
令和3年7月27日（火）

高知市の不登校児童生徒数の推移



国の不登校児童生徒への支援の流れ

「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」(平成29年2月14日施行)

「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する基本指針」(平成29年3月31日策定)

【上記の基本指針により、特に強調された支援策】

不登校児童生徒に対する効果的な支援の推進

①個々の不登校児童生徒の状況に応じた支援の推進

②不登校児童生徒に対する多様で適切な教育機会の確保

「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律の施行状況に関する議論の取りまとめ」(令和元年6月21日)

「不登校児童生徒への支援の在り方について」(令和元年10月25日通知)

【通知の要旨】

1 不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え方

支援の視点を、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があると示すとともに、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがあるとしている。

2 学校等の取組の充実

不登校児童生徒に対する効果的な支援の充実や、不登校児童生徒の登校に当たっての柔軟な受入体制が重要であるとするとともに、不登校児童生徒に対する多様な教育機会の確保する必要があるとしている。

3 教育委員会の取組の充実

教育支援センターの整備充実及び活用を図り、不登校児童生徒への支援の中核となることが期待されている。

高知市の不登校対策のポイント

全ての児童生徒

○各学校での魅力ある(不登校を生じさせない)学校づくり

登校が安定しない児童生徒

○未然防止, 早期発見・早期対応の取組

不登校状態の児童生徒

○不登校児童生徒の自立に向けた支援の充実

通知を受けて強化した高知市の取組
(本日の報告内容)

・教育支援センターみらいの取組

・※「校内型適応指導教室」の研究実践の推進

城北中学校の取組(市教委モデル校)

城東中学校の取組(県教委事業指定)

○「適応指導教室」とは、不登校の子どもや教室に入りづらい子ども等を対象として、教育委員会および首長部局によって学校以外の場所に設置された施設で教育支援センターとも呼ばれる。子どもへの個別カウンセリングや集団での活動、教科指導などを行う。

「適応指導教室」 学事出版より

※「校内型適応指導教室」とは、学校において、それを校内の余裕教室に設置したものである

教育支援センターみらいの取組

みらいの
目的

「多様な学びの場の保障」を目指し、不登校の子どもたちが安心して自己表現できる場として、子どもの成長の場を保障し、心身ともに元気になり、進路に向けて自己実現していけるようにする。



体験学習の充実

○ 子どもたちの「○○したい!」を大切にして、子どもたちが企画・運営することで、自己肯定感の向上を図る。

令和3年5月11日に子どもたちの声により、実施しました。



ICTを活用した学習活動

- 「勉強は好きだが、学校での人間関係がしんどい」という子どもへ学習を保障する。
- 自分の思いや考えを表現することが苦手な子どもの意思や考えを把握することが可能になる。

⇒ 子どもの「したい」を引き出す

小学部 たんぽぽ教室

- ・ 学ぶことに興味・関心をもつ
- ・ 主体的に学ぶ態度を育てる
- ・ 自分の気持ちをわかりやすく人に伝えるツールとしての活用



中学部 クローバー教室

- ・ 新しい世界との出会いで視野を広げる
- ・ 自らの学習活動を振り返り、次の学習につなげる
- ・ みらいタイムを中心に毎日の活動でタブレット端末を活用



季刊誌みらいと手記集の発行

○ 季刊誌みらい

【経緯】

・子どもたちから、「自分たちの描いたイラストや詩、写真などの作品を冊子にして発行したい」という提案があった。

【目的】

- ・自分の作品が冊子になることにより、達成感や意欲の向上を図る。
- ・実際の場合では交流ができない個別支援の子どもが、作品を通して、交流することができる。

○ 手記集「不登校という経験が培う力」

【経緯】

・今までに教育支援センターで4冊の手記集を発行し、取組の紹介や啓発を行っている。

【目的】

- ・不登校の子どもをもつ保護者に、相談場所として、教育支援センターの存在を周知する。
- ・不登校という状態を、問題行動をとらえずに、自分を見つめ直す等の積極的な面があることを知らせる。

【方策】

・オーテピアやふれあいセンター等の機関に配置し、市民に広く周知する。

不登校支援ハンドブックの活用

【課題】

- ・長期欠席・不登校児童生徒の人数、出現率ともに全国及び高知県より高くなっている現状がある。
- ・退職教員の増加により、学校では若年教員の占める割合が多くなり、学級経営や不登校の子どもへの支援で苦慮している状況がある。
- ・高知市が大切にしてきた「人権教育」を基盤にした不登校の子どもたちへの支援を全ての教員に、今一度、伝える必要がある。

【目的】

- ・不登校の予防・初期対応の重要性を知る。
- ・子どもの状態に応じた具体的な支援について知る。

【活用】

- ・日常の学級経営や初期対応から、自立をめざす支援まで幅広い内容について、大学教授の意見を踏まえ、若年教員だけでなくベテランの教員にとってもわかりやすく使い勝手の良いハンドブックとして作成し、校内研修はもとより、事例に応じて、いつでも開いて使うように発信している。

校内型適応指導教室の研究実践の推進

高知市校内型適応指導教室研究実践モデル校 (城北中)の取組

- 令和2年度の研究実践の成果と課題を明確にし、成果を「不登校児童生徒の居場所づくり」を検討している学校へ発信する。
- オンラインにより、サポーター室で在籍学級の授業を受講する。
- サポーター室の担当教員を、教育研究所研究員に任命して、教育支援センターと連携して調査・研究する。

高知県不登校支援推進プロジェクト事業にかかる 配置校(城東中)の取組

- 「不登校等児童生徒への支援の充実に向けた組織体制の確立」
- ① 校内適応指導教室の設置
 - ② 校内適応指導教室コーディネーターの位置付け, 取組等
 - ③ 不登校等児童生徒支援会議の開催
 - ④ 校務支援システム等を活用した情報の共有
- 「不登校の未然防止及び早期対応の取組の推進」
- ① 個に応じた学習指導の充実
 - ② 児童生徒の主体的な活動の充実
 - ③ 児童生徒理解に基づいた学級経営の充実
 - ④ 校内研修の充実
 - ⑤ 欠席状況の早期把握

(プロジェクト事業の要項より)

教育支援センター

高知市立学校における「不登校対応力」の強化を図る。
校内の「子どもの居場所」における学力保障の調査・研究を行う。

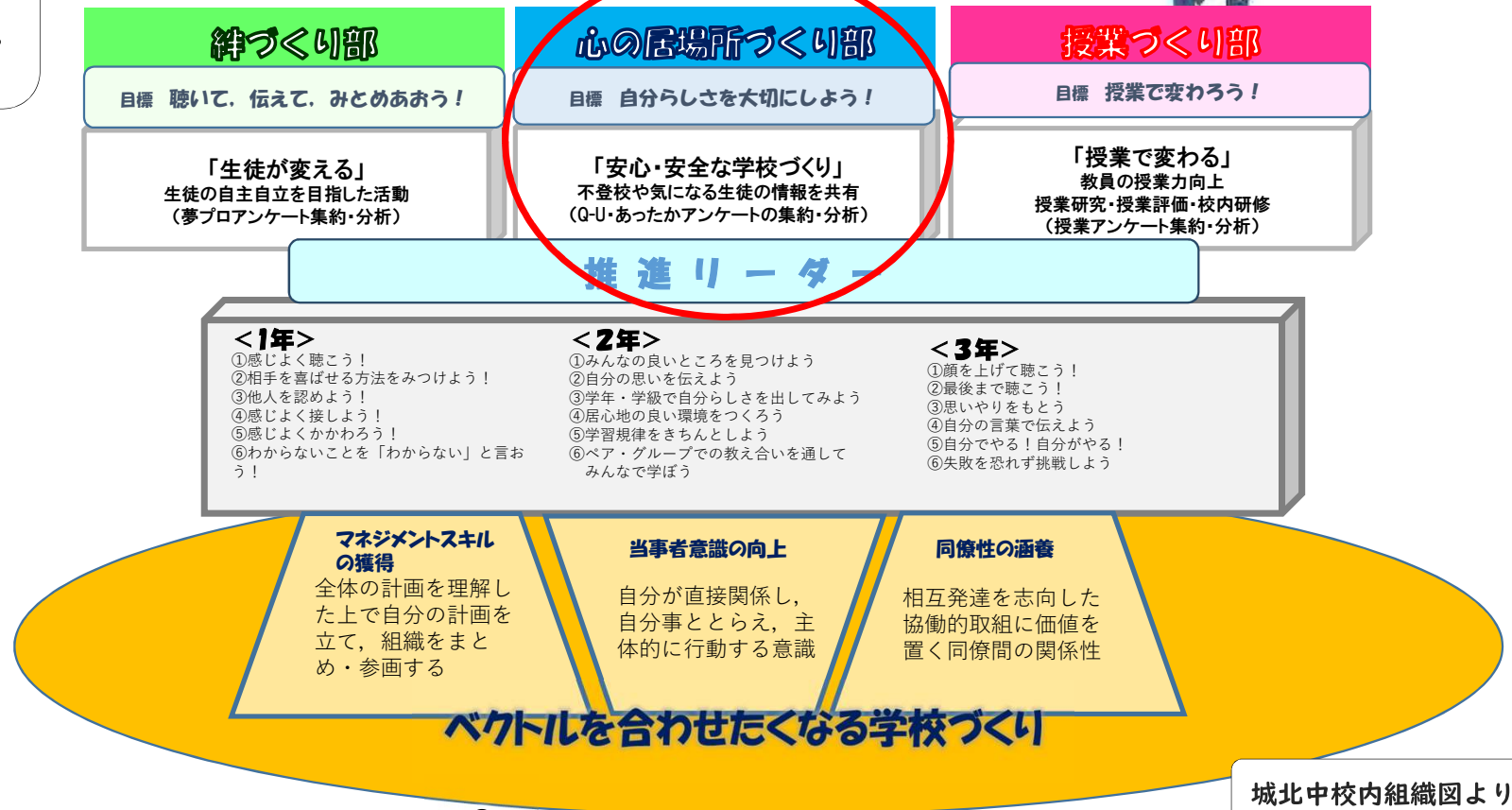
高知市校内型適応指導教室研究実践モデル校

城北中学校サポーター室の取組

○サポーター室の 校内組織への位置づけ

～明日も行きたくなる学校へ～

- 目指す生徒像：**
- あたり前のことをあたり前にできる努力をする。
 - 自分と仲間を大切にできる努力をする。
 - 憧れてもらえる先輩になるために途中経過を真面目に一生懸命にできる努力をする。そんな生徒。



城北中校内組織図より

高知市校内型適応指導教室研究実践モデル校

城北中学校サポーター室の基本的な考え方

全ての教職員が関わることで、子どもが成長する環境をつくっていくことができる

〈目的〉

- 個々の状態に応じた学力が定着し，社会的自立が果たせる
- 教職員や他の生徒とのつながりを持ち，学校に対してプラスイメージをもつことができる

〈対象生徒〉

不登校あるいは不登校傾向の生徒で，学校へは登校できるが，教室に入ることができない生徒

〈サポーター室への受け入れに関する流れ〉

- ① 学年会でサポーター室対応が必要な生徒について検討
- ② 学年会から出された生徒について，心の居場所づくり部会でサポーター室への受け入れを検討
- ③ 保護者・本人との支援会
(目的，ルール，登下校の時間，学習内容等の確認)
- ④ 支援のスタート

高知市校内型適応指導教室研究実践モデル校

城北中学校サポーター室のルーティン

出欠の見える化

子どもの主体性を伸ばします！

11月13日 (金)			
	登校時間	下校時間	給食
OK.H.	13:30		X
IS.R.	13:05		O
CI.M.	11:30		O
SN.Y.	欠席		X
OK.M.	13:10		X
DT.H.	遅刻		X
ST.E.	9:10		O
DF.I.	8:30		O

	10/20	mo	tu	we	th	10/21	mo	tu
1		保体						
2		合唱 (3曲)					美術	
3		合唱 (2曲)	合唱 (2曲)	合唱 (2曲)			カインセ 117	家庭科 (2-1)
4		英語		総合 (2-1)			漢字 英語	家庭科 (2-1)
昼食		ナ						2-1
5		(総合)	一得	原簿 117			9組 算学	特 (2-1)
6		家庭		理科 (2-1)	家庭			

生徒の名前

赤字は教科担当教員の授業

(2-1)は学級で授業を受ける

職員室のホワイトボードに連絡を受けた者が記入

子どもと一緒に1日の予定を決め、担当者が記入

高知市校内型適応指導教室研究実践モデル校

サポーター室の教科担当教員による時間割

	月	火	水	木	金
1					
2					
3				数学	技術
4	社会	美術	理科		
5		英語	音楽		理科
6	家庭			国語	



子どもの状況に合わせた工夫のある授業風景

高知市校内型適応指導教室研究実践モデル校

サポーター室の教室環境づくり

学ぶ意欲を刺激します



漢字カード
古語カード

くつろげる空間が重要です

くつろいだり会話したり
する場



つい立てが
子どもの作品の
掲示板上に！
そして、仕
切り板になります。



教科の
教材



高知市校内型適応指導教室研究実践モデル校

GIGAタブレットを活用した授業の同時配信



教室の授業をここで
受けれるなんてすごい！



高知県不登校支援推進プロジェクト事業指定校

城東中学校「学びの保健室タンポポルーム」の取組

社会的自立と共生（特別支援教育が基盤）

生徒

- 短期・中長期の自己計画表の作成
- 学習における成功体験の増加
- 小集団での活動体験の増加

教職員

- 個別の支援策の策定（PDCA）
- 進路選択に向けた計画的な支援学習
- 保護者との良好な人間関係づくり

学校での居場所づくり

登校動機の拡大

自己有用感の拡大

「学校長の経営ビジョン」より

高知県不登校支援推進プロジェクト事業指定校

タンポポルールの環境面と学習面

〈環境面〉

- 教室環境の整備
活動内容ごとのエリアの設定および居場所づくり
- スケジュールの視覚化
見通しをもたせるためのビジネス手帳の活用
- 指導法の研究開発
タブレット端末を活用した学びの充実

〈学習面〉

- 学びについての不安の軽減
つまづきの実態に応じた個別学習の研究
- ストレス対処法の開発
登校や学習時に感じたストレスへの適切な対処法の開発
- 学習時の自己有用感の醸成
「できた」「わかった」と生徒が感じられる教材の研究

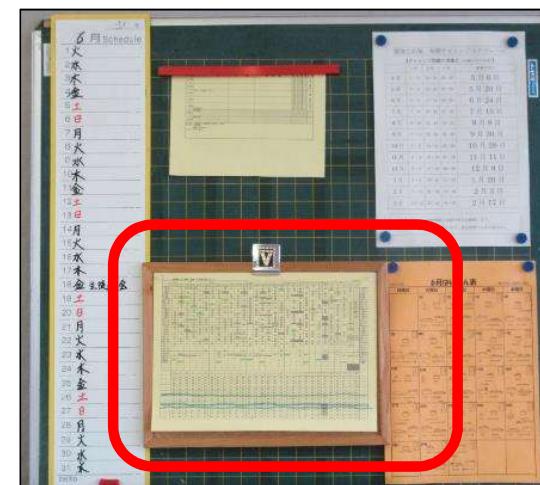
小集団での学習エリア タンポポ1



タンポポルームへの玄関



個別の学習エリア タンポポ2



1週間の時間割を見て、タンポポ1で受ける授業を自分で決めます。

令和3年度 第14回高知市総合教育会議



学力向上対策

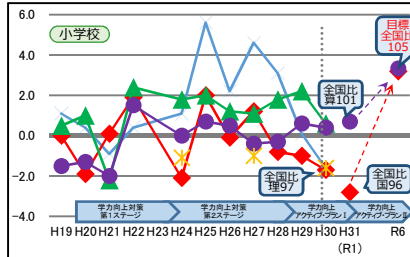
高知市における学力向上の取組

高知市教育委員会学校教育課
令和3年7月27日（火）

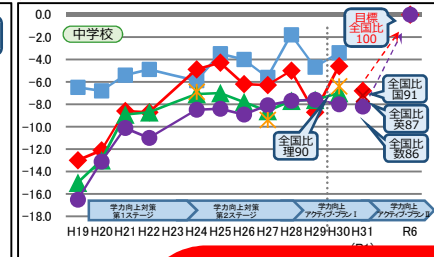
第Ⅱ期 学力向上 Active アクティブ・プラン 令和3年度～令和6年度（4年間）

学力の状況

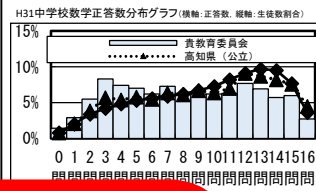
H19～H31全国学力・学習状況調査経年結果（全国平均との差）



● 国語A ● 算数・数学A ● 理科 ● 英語
● 国語B・国語 ● 算数B・数学B・算数・数学



○成果○
これまでの取組から、学習時間の少ない児童生徒が減少するとともに、各校において校内研修が充実してきたことにより全国平均との差が改善傾向にある。



●課題●
全国学力・学習状況調査において、小学校は近年下降傾向にあり、中学校は依然として全国平均に届いていない状況である。特に記述式の問題における正答率が低いことや、中学校数学における全国平均との差が明らかな縮小傾向にないことなどに課題が見られる。中学校数学においては、左下のような分布の状況になっており、中位層から下位層の学力の底上げが喫緊の課題となっている。
このようなことから、今後、継続的な授業改善を進めるとともに、学力の定着を図るために、家庭学習や帯タイム、放課後学習等の授業以外の取組にも力を入れ、それらの取組にICTを効果的に活用するよう各学校を支援する必要がある。

令和6年度 到達目標

小学校は全国上位、中学校は全国並みの学力が身に付いている。

【全国学力・学習状況調査】
全国平均を100としたとき

小学校・義務教育学校前期課程	全国比 105
中学校・義務教育学校後期課程	全国比 100

Active1 組織的なRPDCAサイクルの確立

(1)メンター制を活用した人材育成

○各校において初任者をはじめとする若年教員を中心としたメンターチームを編成し、日常的なOJTの活性化を図る。

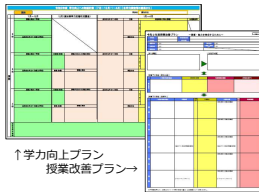
	R2	R3	R4
小学校	18校	初任者が配置された全ての学校	
中学校	3校	初任者が配置された学校の約半分	

(2)中学校における「タテ持ち」型、「教科間連携」型の体制によるライン機能の強化

○「タテ持ち」型の学校においては定期的な教科会を実施する。
○「教科間連携」型の学校においては定期的なチーム会を実施する。

(3)小学校における学力向上プラン（仮）及び、中学校における授業改善プランに基づく取組の充実

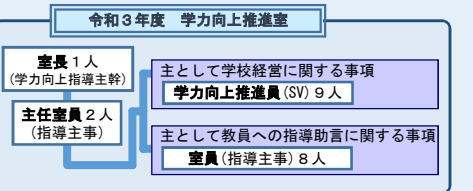
○全国学力・学習状況調査と高知県学力定着状況調査を目標設定及び実態把握の機会として、学力向上の検証改善サイクルを各小学校にて充実させる。
○各中学校において教科共通の取組を中心として、各教科における検証改善サイクルを充実させる。



Active2 各校の学力向上の取組への支援

(1)学校教育課による訪問指導の充実

○指導主事等による訪問指導
〈学力向上推進室による訪問指導〉



各校の実態に応じた継続的な訪問指導
・指導主事による授業改善や学力向上についての訪問指導（要請・指定校：各校の計画による）（教科会：月複数回）
・学力向上推進員による学校経営や初任者育成、各校の要請に対する訪問指導（管理職：年複数回）（初任者：年複数回）

(2)教育研究所による研修及び訪問指導

○若年教員集合研修の実施
○指導力向上に向けた研修の実施
○若年教員に対する訪問指導 等

Active3 学習指導要領の趣旨に沿った取組の充実

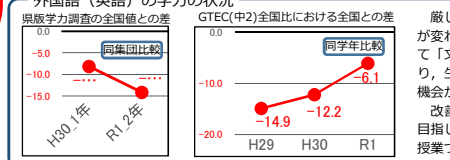
新しい時代を切り拓いていく資質・能力の育成を目指して、学習指導要領（平成29年告示）の理解を基に、その趣旨に沿った取組の充実を図るために、研修や学校訪問を実施する。特に、ICT等を効果的に活用した学習活動、外国語教育の充実を図っていく。

(1)ICT等を効果的に活用した学習活動の充実

○学びの質を高めるために電子黒板やデジタル教科書等を効果的に活用し、児童生徒に必要な資質・能力を養う。
○オンライン学習に対応した教材作成
○産官学連携によるICT活用推進協議会の設置及び授業事例提供
○1人1台タブレットでの高知県版学習プラットフォームの活用推進

(2)外国語教育の充実

○外国青年招致事業
市立学校にALTを派遣し、外国語教育や国際理解教育の充実を図る。
○英語教育強化推進事業
・英語4技能調査を通して、児童生徒の英語力を把握・分析し、授業改善を図る。
・英語教育推進校にALTを配置し、その取組成果を発信することで市全体の外国語教育の充実を図る。
・拠点校を指定し、訪問指導や公開授業等により、外国語教育の研究推進や授業改善を図る。



厳しい学力状況の要因としては、育成を目指す資質・能力が変わってきているにも関わらず、授業において、依然として「文法を教え、練習し、使う」という指導が行われており、生徒が「思考、判断して表現する言語活動」が行われる機会が少なくなることが考えられる。
改善策として、目標と指導と評価がつながる授業づくりを目指し、核となるリーダー教員の育成に力を入れると共に、授業づくり講座や教科会訪問等を通して、授業改善を図る。

第Ⅰ期 学力向上 Active アクティブ・プラン 平成29年度～令和2年度（4年間）

Active1 各事業のRPDCAサイクルを確立し改善を図る

- 次の4点を通して改善を図る。
- これまで以上に機動性をもって指導できる体制を強化するための学力向上推進室を設置して学校訪問と進捗管理を行う。
 - 学びの羅針盤（授業づくりハンドブック）及び授業アイデア例の活用と実践
 - 学力向上への取組計画（50日・100日プラン）及び授業改善プランの実施と検証
 - 単元テストによる個人カルテの活用

Active2 各校の状況分析及必要な手立ての提案

教員の授業力向上や授業改善を推進するため、高知県学力向上総括専門官（齊藤一弥氏）を招聘し、指導主事等との訪問指導により、各校の状況分析及必要な手立てを提案する。国語、算数・数学、理科、社会、外国語を中心とした授業改善を推進し、その取組を高知県全体に普及することで学力の向上につなげる。

① 学力向上推進室を中心とした訪問指導の充実：H30～R2

Active3 新学習指導要領の理解と教育課程の編成

新しい時代を切り拓いていく資質・能力の育成を目指して、新学習指導要領の理解を深め、移行期の取組を推進するために、教育課程に関する研修や学校訪問を実施する。また、カリキュラム・マネジメントモデル事業を継続し、研究モデル校の取組を基に各校における教育課程の改善に資する。

教育課程に関する研修・学校訪問
新学習指導要領に関する研修等の実施、教育課程の編成をサポートする学校訪問
カリキュラム・マネジメントモデル事業（H29年度から継続）
研究モデル校において、先進地への視察やモデルプラン作成、県外講師を招聘しての研修など、先進的に新学習指導要領を具現化する取組を推進する。

学力向上推進室による訪問指導の充実

学力向上推進員，指導主事による意図的・計画的な学校への訪問指導。

※令和2年度訪問回数：のべ1700回

Active 2 各校の学力向上の取組への支援

令和3年度 学力向上推室の構成

室長
(学力向上指導主幹)

主任室員2人
(指導主事)

主として学校経営に関する事項

学力向上推進員(SV)9人

主として教員への指導助言に関する事項

室員(指導主事)8人

指導主事等の担当内訳

小・国語 担当2名
 小・算数 担当2名
 小・英語 担当1名
 中・国語 担当2名
 中・数学 担当2名
 中・英語 担当2名

訪問内容

- ① 学校経営計画に基づく訪問 【全小・中・義務教育学校】年4回
- ② 初任者育成に向けての指導訪問 【初任者配置校】年5回
- ③ 高知市授業研究指定校事業 【指定校16校】
- ④ 中学校組織力向上のための実践研究事業 【「タテ持ち」型16校】月複数回
- ⑤ 授業改善プランに基づく学校訪問 【中・義務教育学校19校】5教科×2回
- ⑥ 高知の授業の未来を創る推進プロジェクト 【指定校10校】



学びの場の広がり
ネットワークの強化



組織的な授業改善体制の構築に向けて

～みんなで学ぶ みんなで高まる 高知の子供たちの未来のために～

新たな取組Ⅰ 授業づくりについて学び合うオープン参加型の学びの場

新たな取組Ⅱ 組織的な授業研究の仕組みづくり ～小学校版～

新たな取組Ⅰ 授業づくりについて学び合うオープン参加型の学びの場

若年教員の育成や日々の実践に活用できるオンライン教材研究会を配信する。

第2回オンライン教材研究会

《令和3年度高知市授業研究指定校，授業づくり講座協力校》

開催日 6月7日(月) 16:00~16:30

初任者・若年教員は必見！

学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて具体的な授業実践を通して、指定校同士がオンラインで学び合います。多くの学校も参加できるように、オープン参加として開催します。是非、この機会を若年教員の授業力向上にお役にしてください！



★第1回の参加者の声★ 第1回参加校:15校

初回は15校から参加いただきました。多くのご参加いただき、ありがとうございました。接続状況や運営面については、可能な限り改善を図りながら、今後の配信につなげていきたいと考えます。指定校におけるアンケートの一部を紹介します。



説明する際には、操作と結び付けて「はじめに」「次に」「さいごに」というキーワードを使って言語化していくことを大切にしたいです。また、今までどのようなことを学習したのか、既習を振り返らせ、本時につなげていきたいと思っています。(初任者)



導入に興味を引き付けることはもちろん大切ですが、子供が自ら操作する時間、また操作したことを言語化して伝えていく時間を確保することが、数量関係を捉えたり、筋道立てて説明する力を育むためにも、より重要であることを学ぶことができました。(指定校4~5年次)



既習をいかに使って思考させ、話し合わせるかが大切になると改めて感じました。教材研究の際には、操作を言語化させる場面をどう仕組んでいくか、焦点を当てていきたいと思っています。子供たちが「文脈に即した説明」ができるように思考の過程を重視した教材研究に励んでいきたいです。(指定校4~5年次)



他校の取組を知ることで、教材について様々な視点をもつことができ、より深く教材について見つめることができました。ぜひ、高学年についても学ばせていただきたいです。(指定校6~10年次)



音声聞き取りにくい面はありましたが、自校のメンター会にも話題を繋げていくことができました。今後とも可能な限りメンター会と重ねていきたいとも思います。(指定校以外 10年次以上)

「見方・考え方を働かせた数学的活動の充実」

当日の内容

1 第5学年6月単元について

— 友だちの意見や考え方をきっかけにして、
より主体的に学ぼうとする姿を大切に —

- (1) 第2時 授業映像から
- (2) 提案について

単元名 「わり算の世界を広げよう」
授業者 島 ちひろ 教諭(介良小)

※ 5月28日に資料を配信します。質問等は事前にFAXでお送りください。

2 指導のポイント 一高学年一

高知市教育委員会 学校教育課 学力向上推進室

準備物

- 事前に配信する資料
高知市立学校ファイルサーバ → 全員共有フォルダ → 2021(R03)年度
→ 01-02_市教委 学校教育課 → 学力向上推進室 → @算数 オンライン教材研究会
- 教材研究に必要なもの
(学習指導要領・教科書指導編・ノート・筆記用具 他)
- 算数の授業づくりのポイント 4/6 掲示板投稿

《ゲスト》



第1回の様子

《ホスト》



-3-



新たな取組Ⅱ

組織的な授業研究の仕組みづくり ～小学校版～

高知市の小学校間で、授業改善の具体的な提案・実践を交流し合う仕組みづくりを行う。

第2期高知市教育振興基本計画
基本目標Ⅲ
◆自ら学び、学びの楽しさを共有できる力の育成

持続可能な学びの場づくり

令和3年 4月 高知市教育委員会

4 質の高い教育を
みんなに

基本方針 10◆学校の組織力及び教職員の資質・能力の向上 P.34

急激に進む教職員の世代交代に伴う「育成」の課題について、学校経営と授業改善を中心とした学力向上の取組の両面から支援を行うことで、学校の組織的に主体的な教職員の資質・能力の向上を図る。

成果指標

令和6年度
達成目標

国語、算数、数学の学力の 全国平均値との比較	小学校:国・算105 中学校:国・数100
授業に対する児童生徒の 肯定的な評価の割合	小学校:国・算85.0% 中学校:国・数75.0%

学習指導要領の趣旨に基づく
授業改革への意識化

学習指導要領と教科書の間を埋める「動どころ」「知恵」「技」を学ぶ

学びの場の広がり実践フィールド

対象者が活躍できる場・対象者が広く学びを求める場の保障

③ 高知市授業研究指定校 16校

組織的な人材育成の視点に基づく授業改善

メンターチーム等を活用した
授業力向上に向けた
組織的な取組

各教科・領域を中心とした
学年・ブロック・全校
による
組織的な授業改善への取組

各校の特色に応じた授業研究
カリキュラム・マネジメント
タブレットの活用など
今日的な教育課題に関わる
授業改善に向けた組織的な取組

各調査等の各校の結果分析
に基づいた
授業改善に向けた組織的な取組

9年間の学びを見据えた
系統的な学習指導
及びその推進に向けた
組織的な取組

学びの広がり

高知市立小・義務教育(簡易課程)学校 全41校

★共に学ぶオンライン合同教材研究会
(5月・6月・9月・10月・11月・2月)
第1木曜日 PM16:00~16:20 予定
兼野小から配信 ※ 授業づくり協議会協力の校

初回 5月6日(木) PM16:00~16:30
《オープン参加》
『見方・考え方を働かせた数学的活動の充実』
5月単元についての授業 ～低学年～

参加申し込み
<https://meet.google.com/0000>
ID: 兼野小のGoogleアカウントID
パスワード: xxx

授業づくりのプロセスを学ぶ場

⑥ 高知の授業の未来を創る推進プロジェクト

※ 学費あり…詳細は各実施要項参照

授業づくり講座

★ 資質・能力の育成を目指す授業づくり
《セット:教材研究会・授業研究会》

拠点校 算数 : 湖江南小 1セット目(6/24,7/6)
2セット目(11/19,12/10)

国語 : 小高坂小 1セット目(6/11,7/8)
2セット目(10/1,10/22)

実践研究協働校

★ 学習指導要領に基づく実践研究
カリキュラム・マネジメント

湖江東小 1セット目(6/3,6/30)
2セット目(9/16,12/2)

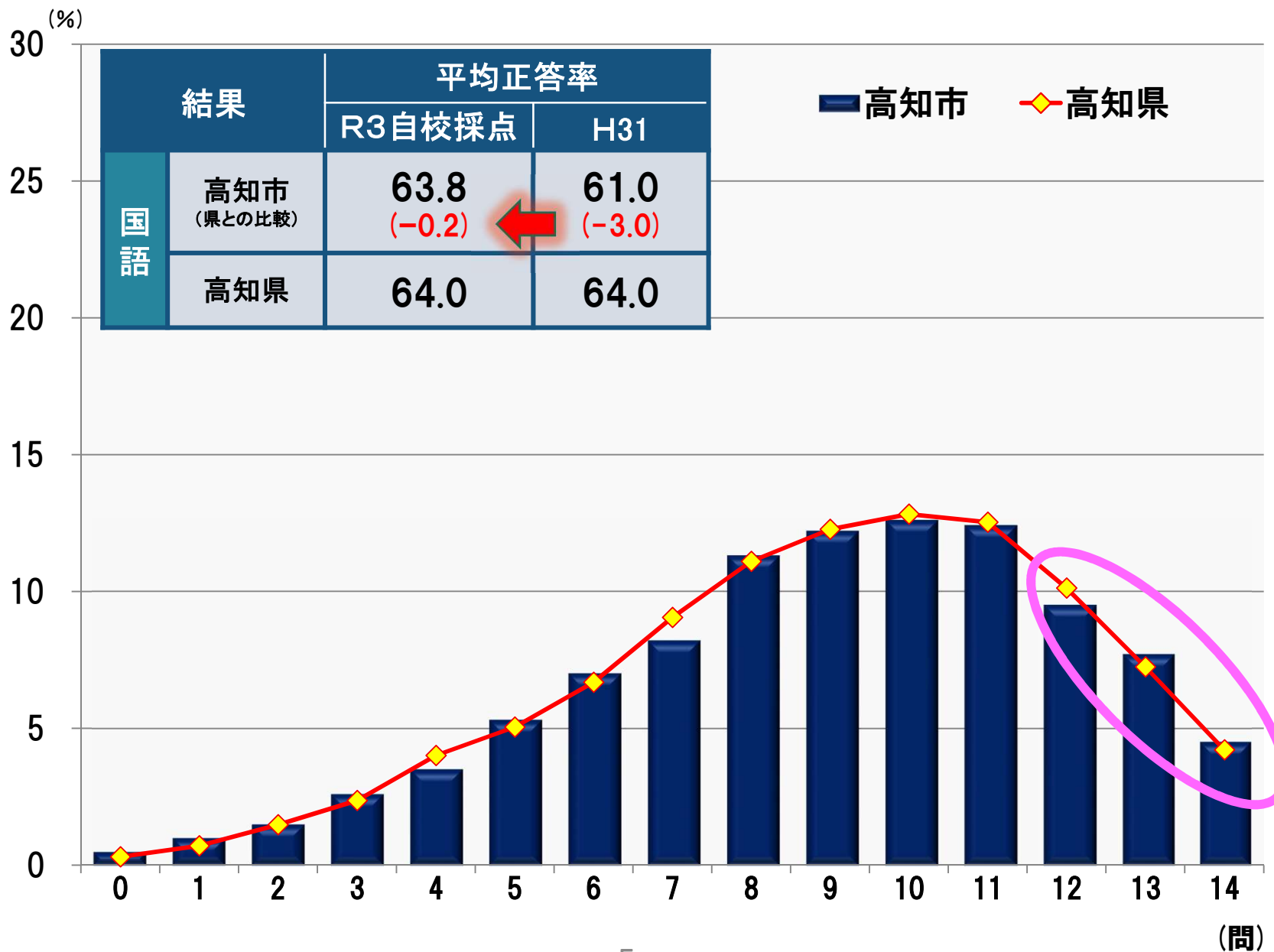
授業改善
具体的な提案・実践

学び続ける教員集団

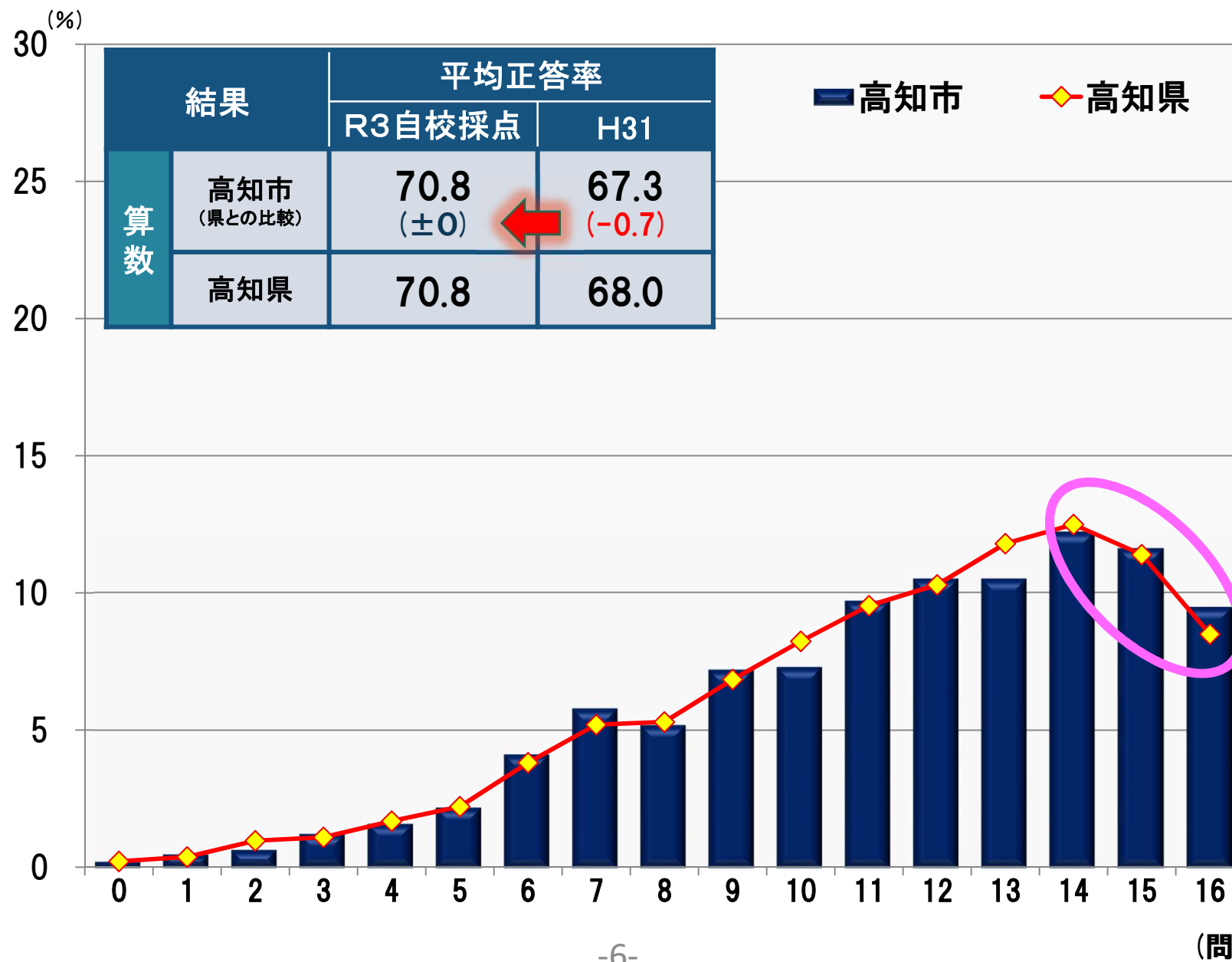
自己省察・学びの共有と発信《成長・実感・共有》

5年後・10年後の高知の教育を担う
人材育成

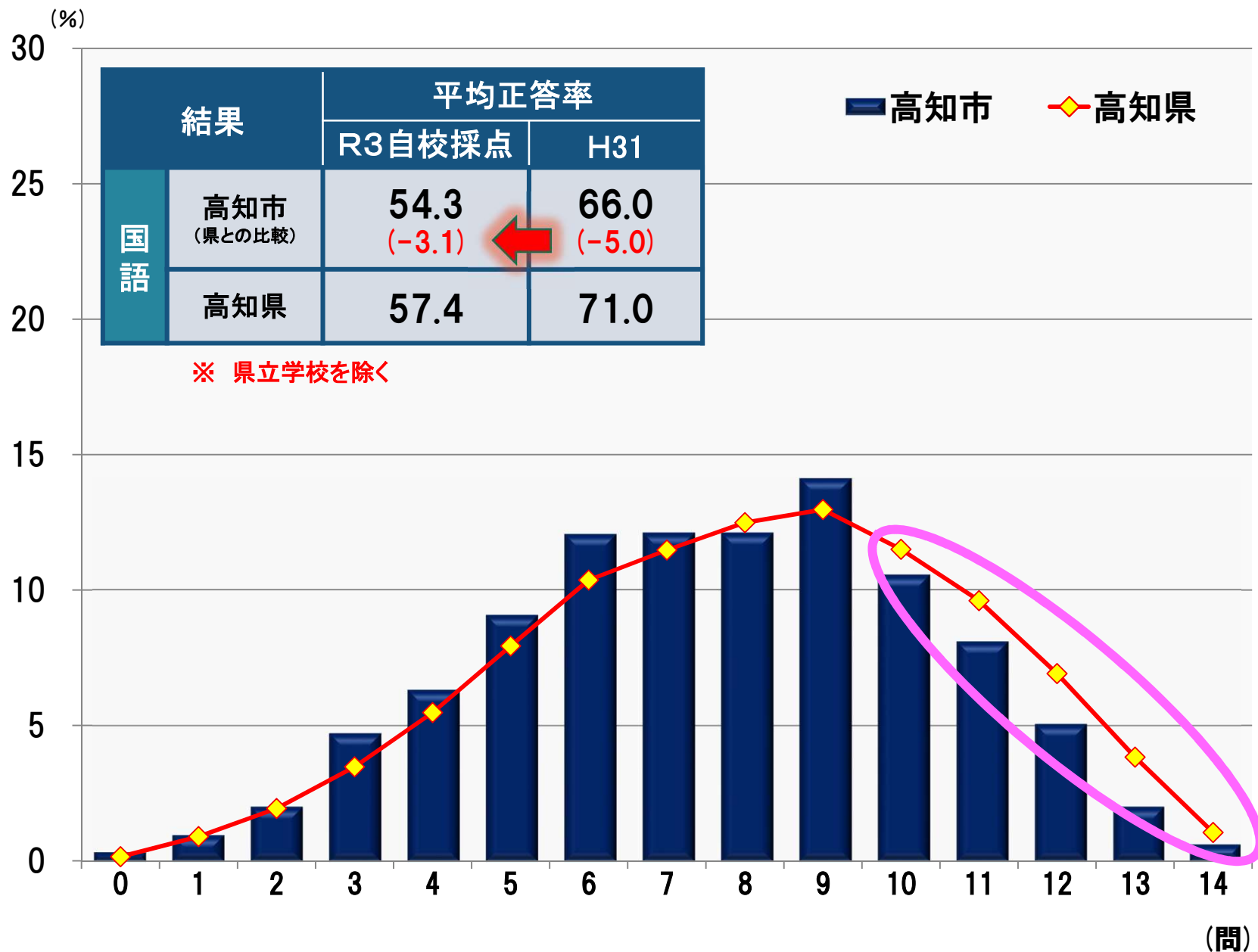
令和3年度全国学力・学習状況調査自校採点結果 正答数分布 小学校6年（国語）



令和3年度全国学力・学習状況調査自校採点結果 正答数分布 小学校6年（算数）



令和3年度全国学力・学習状況調査自校採点結果 正答数分布 中学校3年（国語）



令和3年度全国学力・学習状況調査自校採点結果 正答数分布 中学校3年（数学）

